



栗原市立瀬峰中学校閉校記念誌



ありがとうからいつまで栗原市閉校記念誌～

2019.03



あいさつ			
瀬峰中学校 閉校記念誌の発刊に寄せて	栗原市長	千葉 健司	1
瀬峰中学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長	佐藤 新一	2
瀬峰中学校の閉校にあたって	栗原市立瀬峰中学校校長	古山 明宏	3
閉校にあたり	栗原市立瀬峰中学校父母教師会会長	村上 裕幸	4
栗原市立瀬峰中学校 校歌			
生徒数の推移・校旗・校章			
瀬峰中学校のあゆみ			
昭和			7～9
平成			10～12
学校の概要			
学区の概要			13
校舎のようす			14
歴代校長			
15～16			
歴代父母教師会会長			
17～18			
寄稿文			
～歴代校長～			
閉校に寄せて	第17代校長	濱田 利昭	19
生徒・保護者・教員として	第19代校長	片倉 剛	20
～栗原市立瀬峰中学校父母教師会副会長～			
すべてに感謝		山田 直美	21
～卒業生から～			
瀬峰中学校の閉校に寄せて	昭和33年度卒	二上 信昭	22
すべては瀬峰中学校から	昭和41年度卒	笠原 俊男	23
ずっと忘れない 思い出の学び舎	平成15年度卒	山田 尚	24
思い出のアルバム			
25～37			
在校生の言葉			
耀いた1年間	平成30年度前期生徒会長	二上 星	38
皆が楽しいと思える学校にするために	平成30年度後期生徒会長	高橋利里愛	39
編集後記			
瀬峰中学校閉校に寄せて	栗原市立瀬峰中学校教頭	渡邊真由美	40



瀬峰中学校 閉校記念誌の発刊に寄せて

栗原市長 千葉 健司

旧瀬峰町は清流小山田川の恵みによるのどかな田園風景が広がり、鉄道とともに百年以上の歴史を刻み、交通の要衝として賑わいを見せた地であり、この場所で子どもたちに多くの学びを与えてきた瀬峰中学校が閉校するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昭和26年4月に、瀬峰中学校として開校以来、長い歴史と伝統を築き、瀬峰地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた生徒個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされておりますことは、地域皆様の長年にわたる御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。

また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史の中で、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する深い御理解と御協力によりまして、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが瀬峰中学校であります。

こうした環境において、「心身共に健康で、体（健康）、知（創造）、徳（礼節）の調和のとれたたくましい生徒の育成」を教育目標に掲げ、特に、地域支援コーディネーターの協力のもと、「ふるさと栗原」をテーマに郷土愛と誇りを持たせる体験活動を積極的に行うなど、志教育による豊かな心の育成に力を注がれてきたところであります。

また、分かる喜びと学びの意欲に満ちた学校、生徒・教師が協働する学校、地域に開かれ、信頼される学校を目指し、創意ある学習活動の推進や生徒の自己実現を図る教育活動、指導力向上を目指した研修の充実を図るなど、学校と地域が連携し、互いに協力する学校づくりを推進してこられました。

このように、地域に愛され続けてきた瀬峰中学校が、栗原市全体における学校再編の流れから、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、これまで瀬峰中学校を巣立った皆様、また、地域の皆様にとりまして、深い愛惜の念があると拝察いたします。

しかし、ここで歴史が終わるのではなく、伝統が次代に受け継がれ、新たな歴史が地域の皆様とともに刻まれていくことを願うものであります。

栗原市といたしましても、今後も、学府くりはらの実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、瀬峰地区の更なる発展と子どもたちの健やかな成長を心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



瀬峰中学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 佐藤 新一

平成31年4月、瀬峰中学校は高清水中学校と再編し、現在の瀬峰中学校校舎で「栗原市立栗原南中学校」としてスタートすることになりました。再編にあたり、御理解と御協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

さて、瀬峰中学校は昭和22年4月、新しく制定された教育基本法で示された六・三・三・四制の学校制度のもとに、藤里村立藤里中学校として産声を上げました。その後、昭和26年4月、町制施行により瀬峰町立瀬峰中学校と改称し、現在に至っております。当時の学級数は11学級、教職員18人であったと記録に残っております。

瀬峰中学校は今日まで、多くの優れた人材を輩出し、また、部活動や文化活動においてもその活動の成果が顕著であり、数々の歴史や伝統を積み重ね、地域の教育振興・文化活動の拠点として歩み続けてまいりました。

このように地域と共に歩んだ学校の名称が再編により変わることは、地域の皆様にとっては計り知れない寂しさや愛惜の念を禁じえないこととお察しいたします。

しかしながら、少子化による生徒数の著しい減少や部活動の運営ができなくなっている現状にあることも事実であります。更には急激に変化する社会情勢や国際化等を考えたとき、将来を生き抜く心身ともに逞しい子どもたちを育成するために、学校再編は避けては通れない一つの道であります。多くの仲間との友情や切磋琢磨の中で、自分の志を持って、若き力を発揮できる教育環境を整えていくことも、私たち大人に課せられた責務でもあります。

学校再編は単に生徒たちだけではなく、保護者や地域の皆様の再編でもあります。学校と地域の新しい結びつきを作り上げていくことや「地域で子どもを育てる」という新しい地域コミュニティの構築が求められているのであります。

地域に根ざした新しい学校の校風を実現するためには、家庭・地域・学校・関係機関との連携・協働が大切であり、それを通して学校には子どもたちを未来の社会の創り手となるために必要な資質・能力を育む、社会に開かれた教育課程の編成が強く求められております。子どもたちはもとより地域の方々にも、「再編してよかった」と言われるような新しい学校を創り上げていただきたいと切に願っております。

これまで受け継がれてきた瀬峰中学校の輝かしい歴史と伝統に、新しく仲間に加わる高清水中学校の歴史や伝統を重ね合わせ、新たな「地域と共に歩む学校」の誕生を祈念してやみません。

結びに、これまで永きにわたり学校を支援していただきました地域の方々、教職員の皆様に衷心より敬意と感謝を申し上げまして閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



瀬峰中学校の閉校にあたって

栗原市立瀬峰中学校

校長 古山 明宏

平成31年3月31日、瀬峰中学校は昭和22年4月1日開校からの72年にわたる歴史に幕を下ろすこととなりました。その歴史の始まりでは、様々な御苦労があったことと推察いたします。校長室にある書物には次のような記述があります。

●昭和22年度 4月1日

当時の町財政は困窮していたが、・・・小学校の教室、寄宿舎、治療室等の既存建物を教室として、入学生339名が中学校教育の第一歩を踏み出した。(抜粋)

●昭和23年度 4月7日

校舎敷地土工作業を開始、各部落より出役奉仕

●昭和24年度 2月26日～3月(厳冬の中)

校庭土方作業始まる。各部落毎出役、トラを使用し地ならしを行う。職員、生徒も出役、十日間。このように戦後間もない、生活必需品は極度に不足し毎日の食べ物にも困る中でも、未来を左右する事業である教育が優先されてきたのです。そして、地域の住民や保護者の皆様の熱意、希望、愛情が子どもたちへ注がれ、負託に応える教師が命懸けで子どもたちを守り教え育み、瀬峰中学校の教育は充実・発展し続け、誇れる学校が築かれてきたのだと思います。

さて現在、遠くにのぞむ栗駒山、眼前を流れる小山田川など変わらぬ豊かな自然と、人情も細やかな地域に住む瀬峰の子どもたちは、「豊かな感性」と「人を思いやる心」を育てています。「人は環境によって育てられる」と言われるとおりです。最後の年となった平成30年度も脈々と受け継がれてきた「瀬中魂」は健在です。「決して誰も見捨てない」「あきらめない」「瀬峰中学校の名を残す」などの決意表明が、始業式や激励会などの集会の場で生徒代表から幾度もなされました。そして「高い頂を持つ山は広い麓をもつ」とおり、皆の決意・応援を受けた生徒諸君は下記の市内中学校No.1の結果(優勝)を収めました。

●市中総体・・・野球部

●市陸上大会・・・2年男子 100m、共通男子走幅跳、共通女子砲丸投
男子低学年4×100mR

●市英語暗唱弁論大会・・・弁論の部 及び 暗唱の部(両部門)

●市新人大会・・・野球部、サッカー部

「瀬峰中学校」の名が消えても、地域の方々や卒業生の心の中に「瀬峰中学校」は永遠に息づき、その良さと歴史は語り継がれていくものと確信しております。

結びに、これまでの瀬峰中学校の教育活動に限りない御支援・御協力を賜りました保護者・地域の皆様、栗原市当局をはじめ関係各位に深堪なる敬意と感謝を申し上げまして、閉校にあたっての言葉といたします。



閉校にあたり

栗原市立瀬峰中学校
父母教師会会長 村上 裕幸

平成31年3月をもって地域の方々に支えられてきた学び舎、瀬峰中学校が閉校いたします。

私にとっての瀬峰中学校は3年間を過ごした母校です。今、親という立場になっても人生で一番の思い出に残っているのは中学生時代のことです。当時は一学年で100人近くの生徒数がある学校でした。全学年で3クラスずつあり総勢300名ほどの学校だったのを覚えています。

時代の流れで少子化が進み生徒数が減少していくことは止められないことですが、私が卒業した時代には瀬峰中学校が閉校するとは夢にも思いませんでした。

しかしながら、しっかりと瀬峰中学校の72年の伝統が守られ、今も礼儀正しく規律ある行動をしている生徒たちを見て誇らしく思います。閉校してもこの伝統は皆様の心の中に残っていくことでしょう。

改めて、このたびの学校教育向上に向けた高清水中学校との再編により、校舎は残るものの瀬峰中学校の名が無くなってしまうことは、私をはじめ卒業していった諸先輩の方々の母校がなくなることであり、寂しさを感じます。とは言え栗原南中学校になっても私たち大人は地域の住民として支えあっていくことには変わりありません。今までの瀬峰中学校の伝統と文化は受け継がれていくものと確信しております。

また、再編をすることで瀬峰、高清水両地区の交流は今後増えていきます。瀬峰は瀬峰の良さを、高清水は高清水の良さを大切に、そして融合させて、両地区がこの中学校の再編は本当に良かったと言えるものになればと思います。

私事ではありますが、この再編の時期に父母教師会会長を務めさせていただきました。至らない所はたくさんあったかと思いますが、皆様の協力のおかげで無事務め上げることができました。感謝申し上げます。

最後になりますが、子どもたちを御指導してくださった歴代の教職員の皆様、温かく見守ってくださった地域の皆様、関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。



栗原市立瀬峰中学校 校歌

菊地 新 作詞
海老名仁平 作曲

明るく壮大に

$\text{♩} = 100$ mp ♩

く も と お ー し あ お き く り こ ま あ

た ら し ー き ひ か り は そ ら ー に

mf

り そ う た か く か か ぐ る と こ ろ は な と き く い し は こ ぞ り て あ

あ ー ほ こ り あ れ わ れ ら が せ み ね ち ゅ う が つ こ ー う

一、雲遠し 青き栗駒

新しき ひかりは空に
理想たかく かかぐるところ
花と咲く 意志はこぞりて

あ、誇りあれ
われらが瀬峰中学校

二、水清し ひびく小山田

風薫り ゆたかな大地

力はつらつ きたえるところ
よるこびの 歌もあふれて

あ、栄えあれ

われらが瀬峰中学校

三、友親し みがく春秋

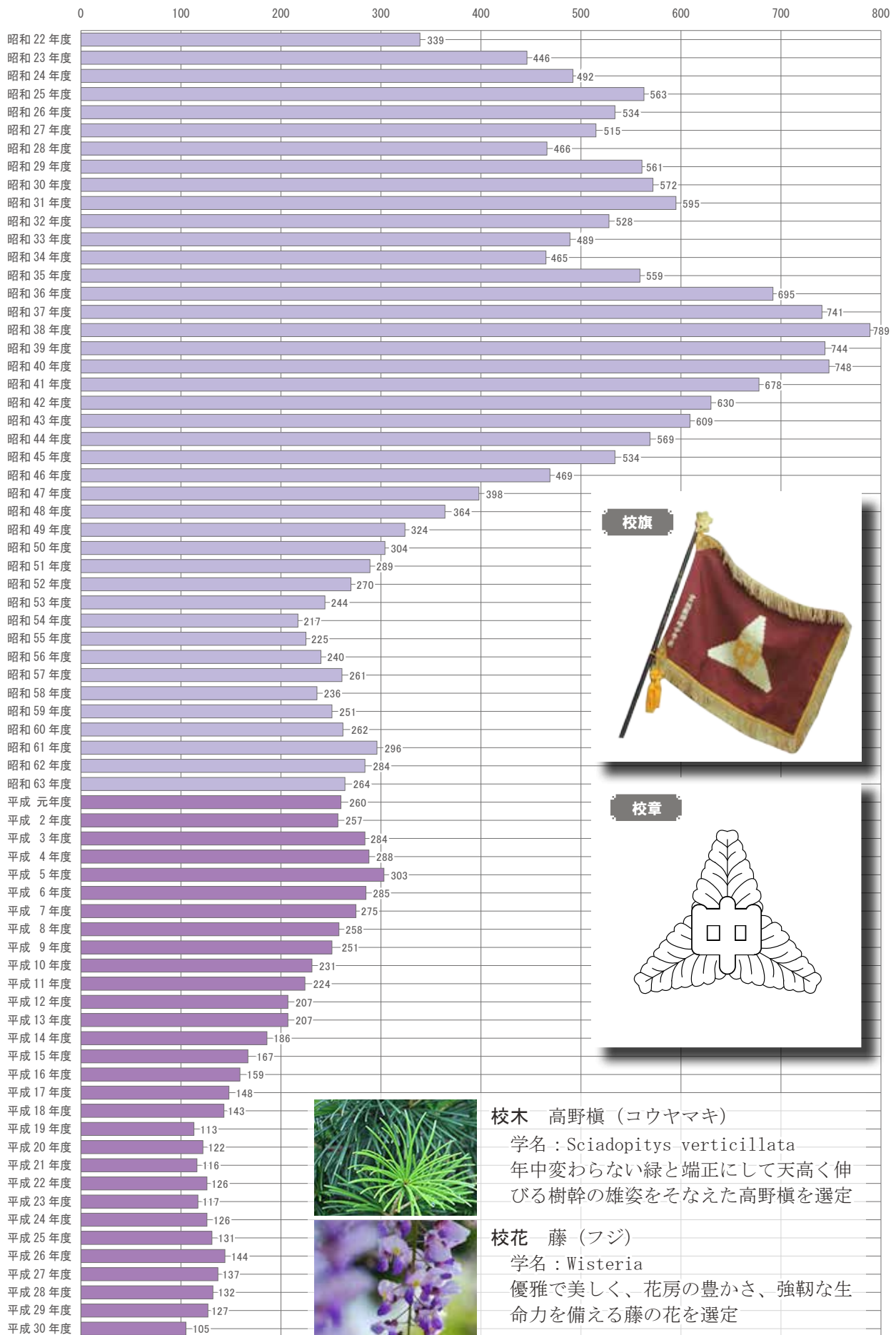
ひとすじの 願いにむつみ
命きよく はぐくむところ

夕星も 澄みてはるけし

あ、ほまれあれ

われらが瀬峰中学校

昭和三十三年八月二十一日制定



校旗



校章



校木 高野槇 (コウヤマキ)
 学名 : *Sciadopitys verticillata*
 年中変わらない緑と端正にして天高く伸びる樹幹の雄姿をそなえた高野槇を選定

校花 藤 (フジ)
 学名 : *Wisteria*
 優雅で美しく、花房の豊かさ、強靱な生命力を備える藤の花を選定





年月日	沿革概要	歴代校長	
昭和 22. 4. 1	藤里村立藤里中学校 開校式	初代 菊池 讓	
17	第1回入学式		
12. 2	新制中学校校舎建築について村会を開く	 校舎落成式（昭和24年度）	
23. 3. 20	第1回卒業式を小学校講堂にて挙行		
4. 7	新築校舎土工作業開始		
11. 17	校舎上棟式		
24. 7. 31	校舎落成式		
11. 10	登米・栗原両郡中学校教員認定講習開催		第2代 金子甚之助
25. 7. 15	部落生徒会を実施		 落成式（昭和24年度）
10. 8	校庭落成大運動会		
			 割烹授業（昭和24年度）
26. 4. 1	町制施行により藤里町となり、同日瀬峰町と改称 瀬峰町立瀬峰中学校と校名変更する		 幻灯（昭和27年度）
5. 5	町制施行記念大運動会 開催		
6. 20	校門落成		
10. 30	モデルPTA研究会開催	 文化祭 埴生の宿（昭和31年度）	
27. 4. 28	講和条約発効独立記念式挙行		
11. 1	瀬峰町教育委員会誕生		
28. 11. 18	栗原郡内音楽研究会開催		
29. 2. 12	屋内体操場建築推進委員会結成		
5. 26	気象観測器設置		
7. 21	移民成功者講演会開催		
11. 29	郡内中学校教頭研究会		
30. 7. 2	栗原・登米地区PTA運営研究会開催		第3代 熱海 實
12. 9	屋内体操場建築推進委員合同会議開催		
31. 10. 19	屋内体操場建設敷地地鎮祭	 屋内体操場落成式（昭和32年度）	
32. 5. 28	屋内体操場上棟式		
8. 21	校歌制定		
11. 29	屋内体操場落成式 郡社会科研究会公開発表		
33. 4. 26	国旗掲揚塔落成	第4代 山内 誠一	
7. 22	少年消防隊結成	 運動会（昭和33年度）	
9. 23	バックネット落成		
11. 26	英語研究会		
34. 8. 30	第5回おかあさんと先生の集い		
9. 29	文部省学力テスト		
35. 4. 1	産業教育指定校（2か年間）	 運動会（昭和33年度）	
7. 6	IRテレビ視聴覚研究会		
36. 5. 19	本校応援歌発表会		
9. 3	自転車置場増築	※山内誠一氏退職（9/30）	
10. 16	学級時計設置	第5代 鈴木 健吾	



年月日	沿革概要	歴代校長	
昭和 36. 11. 13	増築校舎落成式	 珠算クラブ (昭和 36 年度)	
37. 4. 30	県北部地震		
7. 24	親と子の話し合い		
10. 23	特別教育活動研究会公開		
38. 5. 31	学田田植 自転車増設		
11. 15	ミルク給食開始 サッカーゴール設置		
39. 5. 1	宮教委より教育課程研究指定 (2 次年)		
10. 1	生徒相談室 教具室増築		
40. 11. 16	郡小中保健主事養教研修会		
12. 22	教育講演会		
41. 8. 27	登米中 P T A 学校視察	第 6 代 手島 正夫	
9. 1	全酪ミルク給食開始	 音楽クラブ (昭和 42 年度)	
11. 4	読書感想文発表会		
42. 3. 4	瀬峰中学校同窓会入会式		
4. 1	宮教委より生徒指導研究指定		
10. 3	郡中学校生徒弁論大会入賞		
6	3 4 号台風のため臨時休校		
43. 10. 22	宮教委指定生徒指導研究公開		
11. 25	瀬峰町手をつなぐ親の会設立総会		
44. 6. 11	対大貫中学校体育クラブ定期戦		第 7 代 山崎 順大
8. 5	プール落成		 3 年生担任 (昭和 45 年度)
10. 20	早稲田大学生教育実習		
45. 6. 17	南部中学校総合体育大会会場		
7. 22	人工呼吸法講習会		
11. 10	文化祭 P T A 文化のつどい		
46. 10. 19	道徳自主公開授業		
11. 1	校内球技大会		
47. 7. 17	高清水中学校との定期戦開始	第 8 代 小野 紀男	
11. 22	宮教委・河北新報社より学校保健優秀校表彰		
48. 10. 17	優良こども貯蓄協同組合表彰	 第 9 代 葛城 教信	
11. 27	学校安全優秀校表彰		
49. 5. 9	神楽クラブ新設		
11. 4	剣道部全員初段合格		
50. 1. 9	完全給食開始		
11. 27	防火映画鑑賞		
51. 4. 30	郡継走祭 女子低学年優勝		
52. 5. 20	創立 3 0 周年記念校内陸上競技大会		
8. 6	剣道東北大会男子団体出場		
27	新校舎建築推進協議会		
12. 23	創立 3 0 年誌出版記念式	郡中学校総合体育大会 (昭和 51 年度)	
53. 2. 3	米飯給食開始	 第 10 代 奈須野 凰嘉	
6. 12	宮城県沖地震発生		
19	新校舎建築着工		
9. 19	N H K 音楽コンクール参加		
54. 3. 2	新校舎竣工		
16	旧校舎お別れ式		
6. 15	瀬峰病院ベットスクール開校式		
10. 3	郡中体連駅伝大会男子優勝		文化祭 (昭和 53 年度)

年月日	沿革概要	歴代校長
昭和 54. 11. 1	「創造」の石碑設置	
12. 11	校庭整地作業	
55. 6. 18	子ども貯蓄活動状況視察	
8. 8	県総合体育大会で剣道男子個人優勝 東北大会出場	第11代 千田 正光
10. 17	子ども貯蓄協同組合中央表彰	
56. 2. 26	大蔵省貯蓄奨励官来校	
4. 1	県教委より特別教育活動研究指定	
11. 12	県特別活動研究大会開催（旧瀬峰町公民館）	
57. 6. 17	郡総合体育大会 野球・バレーボール優勝	
20	プール塗装工事	
58. 6. 25	父親学級	
9. 1	屋体放送設備工事	
10. 19	教育視察	
59. 6. 14	郡中体連総体 女子バスケットボール優勝	第12代 及川 秀美
9. 12	学校視察来校	
10. 22	郡中体連新人大会 女子バスケットボール優勝	
60. 6. 13	郡中体連総体 女子軟庭優勝	
10. 20	郡中体連新人大会 男子剣道優勝	
61. 4. 28	道德教育推進校指定	
6. 14	郡中体連総体 女子軟庭優勝	
10. 5	県中体連駅伝大会 男子準優勝 東北大会4位	
62. 6. 10	郡中体連総体 女子軟庭優勝	
24	郡中体連陸上競技大会 男子、男女総合優勝	
7. 23	県中体連総体 陸上男子3,000m 優勝	
8. 4	全日本中学校通信陸上競技大会 共通男子3,000m 第6位	
10. 18	郡中体連新人大会 女子剣道優勝 女子軟庭優勝	
22	農協共済交通安全ポスター 宮城県優秀学校賞	
11. 17	国土緑化育樹運動ポスター 県最優秀賞	
18	県文化財愛護ポスター 最優秀賞	
23	栗原郡防火ポスター 最優秀賞 宮城県造形教育作品展 優秀賞	
63. 1. 23	宮城県小中高等学校作曲コンクール 県入賞	
2. 11	郡バスケットボール選手権大会 中学の部優勝	
5. 6	宮城県愛鳥週間ポスターコンクール特別賞 宮城県貯蓄推進ポスター特選賞	
15	月刊誌「道德と特別活動」に道德授業実践例発表	
6. 9	郡総合体育大会 女子軟庭団体優勝	
10. 1	栗原郡福祉に関するコンクール ポスターの部最優秀賞 標語の部最優秀賞	
15	栗原郡中学校新人大会 女子軟庭団体優勝 男子バレーボール 優勝	
18	宮城県造形教育作品展 読売新聞社賞	
11. 1	教育機関誌「教育宮城」に”教育実践の試み”掲載	



生徒総会（昭和58年度）



女子バスケットボール部
（昭和59年度）



女子剣道部（昭和62年度）



庭球部（昭和63年度）



年月日	沿革概要	歴代校長
平成 元	1. 22 栗原郡中学校バスケットボール1年生大会 男子の部優勝	第13代 菅原 稔
	2. 11 栗原郡中学校春季バレーボール大会 男子の部優勝	
	8. 1 少年の主張栗原大会 最優秀賞	
	9. 20 郡中学校駅伝競走大会 男子優勝	
	10. 17 県貯蓄推進運動 ポスターの部 特選	
	22 郡中学校新人大会 バスケットボール男子優勝	
	24 郡中学校国語弁論大会 最優秀賞	
	県長寿社会を考える作文・ポスターコンクール ポスターの部 最優秀賞	
	28 農協共済県小中学生作品コンクール ポスターの部 県知事賞 県警本部長賞	
	11. 10 郡福祉に関するコンクール 作文の部 最優秀賞	
2.	1. 21 栗原郡中学校バスケットボール1年生大会 男子優勝	第14代 門傳 直志
	2. 12 県小中学校児童生徒書きぞめ展 部会長賞	
	6. 13 郡中学校総合体育大会 バスケットボール男子優勝	
	7. 3 郡中学校水泳大会 男子1,500m自由形優勝	
	9. 17 郡福祉に関するコンクール ポスターの部 最優秀賞	
	10. 20 郡中総体新人大会 バレーボール男子優勝 女子軟庭団体・個人優勝	
	11. 19 県防犯作文コンクール 優秀賞 郡防火ポスターコンクール 最優秀賞 郡納税に関する作文コンクール 特選	
	12. 10 郡電気安全ポスターコンクール 最優秀賞	
3.	1. 14 県小中学校児童生徒書きぞめ展 毛筆の部 特選	
	2. 10 栗原郡中学校春季バレーボール大会 男子の部優勝	
	6. 13 郡中学校総合体育大会 バレーボール男子優勝 女子軟庭団体・個人優勝	
	26 郡中学校陸上競技大会 男子 3,000m・走幅跳優勝 女子 走幅跳・三種B 優勝	
	9. 18 郡中学校駅伝大会 男子の部 優勝	
	20 郡中学校英語暗唱弁論大会 弁論の部 最優秀賞	
	10. 19 全国小中学校作文コンクール 県審査 優秀賞 読売新聞社賞	
	11. 22 県国土緑化育樹運動ポスターコンクール 最優秀賞	
4.	2. 17 県小中学校児童生徒読書作文コンクール 部会長賞	
	7. 21 第44回国土建設週間図画作文コンクール 作文の部 建設事務次官賞	
	8. 23 郡中学校ソフトテニス大会 女子団体優勝	
	9. 17 郡中学校駅伝大会 男子の部 優勝	
	22 郡中学校英語暗唱弁論大会 優秀賞	
	11. 5 県中学校弁論大会 優秀賞	
5.	2. 13 県小中学校児童生徒書きぞめ展 部会長賞	第16代 野球場 (平成5年度)
	5. 4 河北杯 栗原郡中学校野球大会 優勝	
	6. 8 郡中学校総合体育大会 野球 優勝	
	7. 25 県中体連総体女子ソフトテニス個人5位(東北大会出場)	
	9. 20 県国際理解・国際協力ポスター 最優秀賞	
	12. 10 県福祉活動標語ポスターコンクール 優秀賞	



バレーボール部 (平成元年度)



バスケットボール部 (平成2年度)



郡陸上競技大会 (平成3年度)







郡駅伝大会 (平成4年度)



野球部 (平成5年度)



年月日	沿革概要	歴代校長	
平成 6. 5. 4	河北杯 栗原郡中学校野球大会 優勝	 <p>郡駅伝大会 (平成 6 年度)</p>	
6. 4	郡中学校総合体育大会 女子ソフトテニス団体・個人優勝		
9. 13	郡駅伝競走大会 男女優勝		
10. 7	全国防犯運動ポスターの部 最優秀賞		
12. 2	心の輪を広げるポスターの部 優秀賞		
7. 1. 30	県小中学校児童生徒書きぞめ展 部会長賞		
4. 1	在学青少年生徒指導推進モデル地区指定		第 16 代 佐藤 一臣
6. 7	郡中学校総合体育大会 男子ソフトテニス団体優勝		
7. 24	県中体連総体陸上男子 8 0 0 m 第 2 位 (東北大会出場)		
8. 1	栗原地区少年の主張発表会 優良賞		
9. 13	郡駅伝競走大会 女子優勝	 <p>郡水泳大会 (平成 9 年度)</p>	
8. 1. 30	県小中学校・高等学校児童生徒作詞作曲コンクール入選		
6. 5	郡中学校総合体育大会 女子ソフトテニス団体、野球優勝		
19	郡陸上競技大会 男女総合優勝		
7. 7	5 0 周年記念七夕大運動会		
11. 18	郡英習字英作文コンクール 優良賞		
12. 13	創立 5 0 周年記念式典記念講演会		
9. 9. 22	郡中学校写生会		
12. 17	瀬峰町親子映画会		
10. 5. 16	校内マラソン大会		第 17 代 濱田 利昭
8. 21	町内教職員レクリエーション大会		
11. 7. 13	栗原地区少年の主張発表会 優秀賞		
12. 18	体育館お別れセレモニー		
12. 1. 11	生徒会新体育館お披露目セレモニー	 <p>白鳥苑訪問 (平成 11 年度)</p>	
9. 17	新古里ソフトテニス大会 優勝		
10. 7	郡中学校新人体育大会 ソフトボール優勝		
13. 7. 20	宮城県北部少年剣道大会 女子団体優勝		
10. 14	みやぎ国体自転車競技ロードレース応援		
26	郡中学校国語弁論大会 最優秀賞		
11. 7	郡英習字英作文コンクール 最優秀賞		
14. 1. 20	郡バスケットボール 1 年生大会優勝 最優秀選手賞		
2. 9	県自作視聴覚コンクール学校教育スライド部門 最優秀賞		
7. 21	郡中学校総合体育大会 剣道女子個人出場		
10. 18	郡中学校国語弁論大会 最優秀賞	 <p>パワーカップ (平成 18 年度)</p>	
15. 10. 24	郡中学校国語弁論大会 優秀賞		
11. 6	郡英習字英作文コンクール 優秀賞		
16. 7. 9	少年の主張栗原大会会場		
10. 26	郡中学校国語弁論大会 優秀賞		
11. 6	郡英習字英作文コンクール 優秀賞		
17. 4. 1	町村合併により栗原市立瀬峰中学校と改称		第 20 代 小野寺隆成
11. 9	市中学校英作文コンクール 最優秀賞 県中学校国語弁論大会 優良賞		
18. 1. 26	県小中学校児童生徒書きぞめ展 金賞 特選		
19. 2. 10	県小中学校児童生徒書きぞめ展 金賞 特選		
8. 1	東北中学校相撲大会 3 学年個人戦出場 (県中体連総体 相撲個人 第 3 位)		



年月日	沿革概要	歴代校長
平成 19. 11. 13	県中学校弁論大会 優秀賞	
20. 2. 13	県小中高児童生徒作曲コンクール NHK仙台放送局長賞	
20	県小中高児童生徒読書感想文コンクール 部会長賞	
21. 5. 20	河北美術展鑑賞	第21代 小野寺 薫
22. 2. 24	県小中学校児童生徒書きぞめ展 部会長賞	
6. 5	市中学校総合体育大会 野球 14年ぶりの優勝	第22代 小野寺幹雄
7. 25	県中体連総体 陸上3年男子 100m 第3位	
8. 7	東北中学校陸上大会 3年男子 100m 第6位	
11. 2	県中学校国語弁論大会 優秀賞	
23. 3. 11	東日本大震災	
24. 2. 25	新入試制度説明会	
9. 29	市新人大会 男子バスケットボール部準優勝	第23代 佐藤 泰孝
11. 27	スウェーデン大使来校記念講演会	
25. 9. 28	市新人大会 サッカー優勝・野球準優勝	
26. 8. 22	瀬峰地区小中学校保健委員会 (瀬峰小会場)	第24代 菅原 至
9. 28	市新人大会 サッカー優勝・野球準優勝	
27. 9. 26	市新人大会 野球優勝	
10. 31	2年「命の授業」	
28. 6. 4	市中学校総合体育大会 ソフトテニス女子団体優勝	第25代 和久 芳昭
7. 24	県中体連総体 女子ソフトテニス個人第3位 第5位 (東北大会出場)	
9. 1	市英語暗唱弁論大会 最優秀賞 県大会出場	
29. 6. 3	市中学校総合体育大会 卓球男子団体 優勝	
15	市中学校陸上競技大会 男子1年 100m第1位	
7. 22	県中体連総体 陸上男子1年 100m第2位 (東北大会出場)	
9. 5	市英語暗唱弁論大会 優良賞	
30. 6. 2	市中学校総合体育大会 野球 (瀬峰・高清水合同チーム) 優勝	第26代 古山 明宏
9. 6	市英語暗唱弁論大会 暗唱の部・弁論の部ともに最優秀賞	
10. 6	市新人大会 野球・サッカー優勝	
31. 3. 31	学校再編事業により高清水中学校との再編のため閉校する (閉校式 平成31年2月16日)	



栗原市水泳競技大会 (平成21年度)



インターンシップ (平成29年度)



中総体 (平成30年度)



学区の概要

瀬峰は県の北部、栗原市の南東部に位置し、東西10キロ・南北8キロ・面積29.8km²で、東は登米市迫町、南は大崎市田尻に接している。

丘陵地の東端にあるが、全般的に平坦である。

明治22年、大里・藤沢の両村が合併し藤里村となり、昭和26年4月町制施行により瀬峰町となり、平成17年4月から10町村合併により栗原市となる。

人口4,373人、世帯数1,554世帯（平成30年3月末）、その多くが米作を中心とした農家である。

工場が誘致され、地域全体が兼業化し、両親共働きの家庭が多くなってきている。

地域民は教育的関心が高く、学校と地域の連携・協力に係る事業にも協力的である。



学区地図



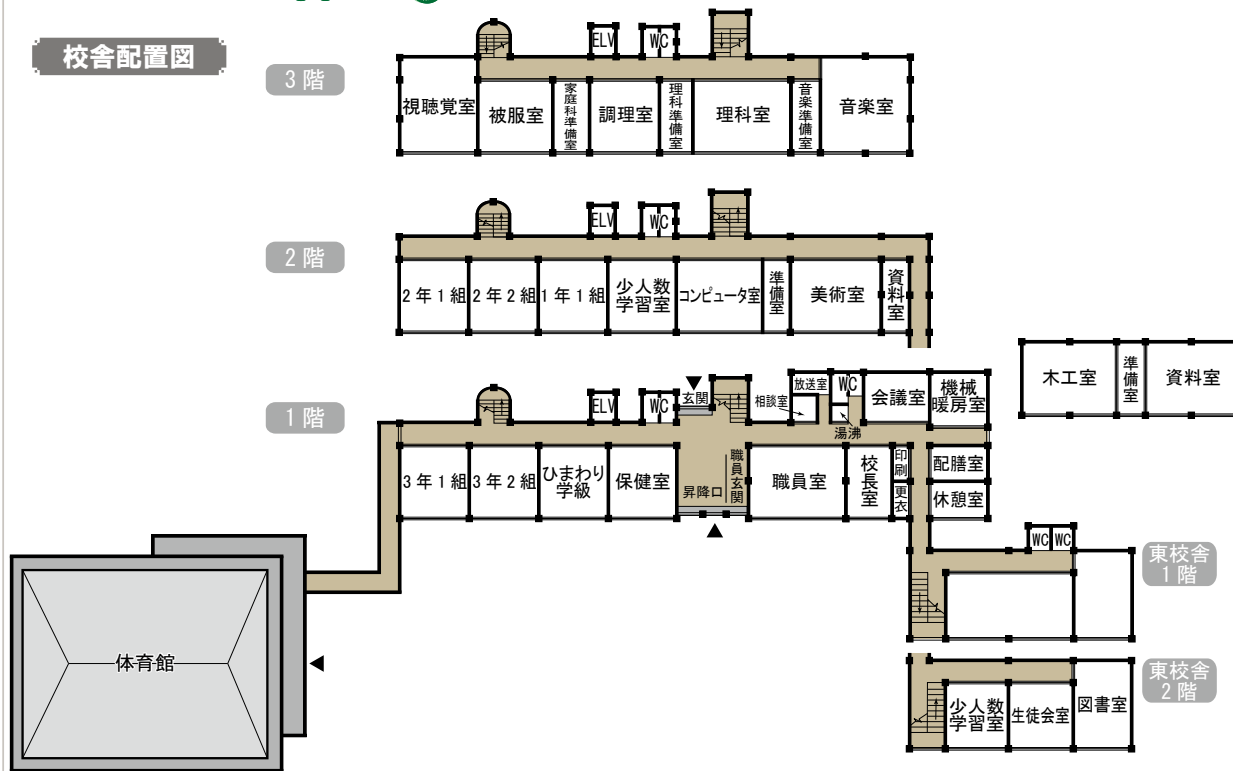


校舎のようす

学校平面図



校舎配置図





初代	菊池 讓	昭和 22 年度～昭和 24 年 9 月
第 2 代	金子甚之助	昭和 24 年 9 月～昭和 30 年度
第 3 代	熱海 實	昭和 31 年度～昭和 32 年度
第 4 代	山内 誠一	昭和 33 年度～昭和 36 年 9 月
第 5 代	鈴木 健吾	昭和 36 年 10 月～昭和 40 年度
第 6 代	手島 正夫	昭和 41 年度～昭和 43 年度
第 7 代	山崎 順大	昭和 44 年度～昭和 46 年度
第 8 代	小野 紀男	昭和 47 年度～昭和 48 年度
第 9 代	葛城 教信	昭和 49 年度～昭和 52 年度
第 10 代	奈須野胤嘉	昭和 53 年度～昭和 54 年度
第 11 代	千田 正光	昭和 55 年度～昭和 58 年度
第 12 代	及川 秀美	昭和 59 年度～昭和 63 年度
第 13 代	菅原 稔	平成元年度～平成 2 年度
第 14 代	門傳 直志	平成 3 年度～平成 3 年 10 月





第15代	尾形 淳一	平成3年11月～平成6年度
第16代	佐藤 一臣	平成7年度～平成9年度
第17代	濱田 利昭	平成10年度～平成11年度
第18代	三浦 昭徳	平成12年度～平成14年度
第19代	片倉 剛	平成15年度～平成16年度
第20代	小野寺隆成	平成17年度～平成19年度
第21代	小野寺 薫	平成20年度～平成21年度
第22代	小野寺幹雄	平成22年度～平成23年度
第23代	佐藤 泰孝	平成24年度～平成25年度
第24代	菅原 至	平成26年度～平成27年度
第25代	和久 芳昭	平成28年度～平成29年度
第26代	古山 明宏	平成30年度





- | | |
|------|--------|
| 初代 | 千葉 徳恵 |
| 第2代 | 国井千賀雄 |
| 第3代 | 山田千代之助 |
| 第4代 | 鈴木 祐 |
| 第5代 | 高橋 文雄 |
| 第6代 | 山田 忠男 |
| 第7代 | 只野 重喜 |
| 第8代 | 大場 清 |
| 第9代 | 佐々木宗夫 |
| 第10代 | 遠藤 隆 |
| 第11代 | 仁木 兼志 |
| 第12代 | 宮内 登 |
| 第13代 | 佐々木貞太郎 |
| 第14代 | 岡崎三千郎 |
| 第15代 | 伊藤豊之進 |
| 第16代 | 山下 清 |
| 第17代 | 高橋 孝男 |
| 第18代 | 石川敬次郎 |
| 第19代 | 遠藤 隆市 |
| 第20代 | 圓谷 晃一 |
| 第21代 | 松村 征一 |





- | | |
|------|-------|
| 第22代 | 山田 忠重 |
| 第23代 | 千葉 豊 |
| 第24代 | 宮内 光明 |
| 第25代 | 遠藤 安男 |
| 第26代 | 後藤 哲弘 |
| 第27代 | 本田理喜雄 |
| 第28代 | 宮内 治光 |
| 第29代 | 高橋 良輝 |
| 第30代 | 小原 公康 |
| 第31代 | 宮内 榮喜 |
| 第32代 | 山田 弘美 |
| 第33代 | 笠原 俊男 |
| 第34代 | 二上 達也 |
| 第35代 | 鈴木 太 |
| 第36代 | 渡邊由佳利 |
| 第37代 | 米山ひとみ |
| 第38代 | 三神 利正 |
| 第39代 | 二上 由紀 |
| 第40代 | 佐々木克実 |
| 第41代 | 菅野 希 |
| 第42代 | 村上 裕幸 |



閉校に寄せて

第17代校長 濱田 利昭

平成が幕を閉じ、新しい時代を迎えようとしている大きな節目の時に、母校瀬峰中学校が閉校するという、深い感慨を覚えています。

瀬峰中学校は地域の方々の期待と熱意により昭和22年に創立、それ以来有為な人材を多く育て今日に至っています。私にとっては母校であり、二度勤務した学校であり、教育委員会の職員としてかかわった学校です。そして、何よりも多くの友人とともに少年時代を過ごした時から今日まで、地域の学校として心の支えだった学校です。

私が中学生生活を送ったのは、体育館もまだ建設されず、校歌も制定されていない昭和20年代後半です。地域の方々の協力と多大な奉仕を得て建てられた木造校舎でした。行事や部活動は校庭で行い、時に二階の教室を二つ三つ打ち抜いて行うという、現在とは大きく異なる環境でした。150名ほどの同級生と充実した楽しい生活で、思い出がいっぱいです。

それが40数年を経て着任した時は、生徒数も1学年80名ほどにまで半減していました。時代の変化を強く感じさせられました。何より大きなことは、新しい体育館の建設が始まろうとしていたことでした。歴代の校長先生や教育委員会ははじめ地域の方々のご尽力で計画、準備が完了し、私は工事を見守るだけでしたが、平成12年(3学期)には使用を開始することができました。私の卒業後間もなく建設された体育館が40余年を経て老朽化して建て替えられたのです。多くの人々の思い出を作った体育館ですが、惜しまれながら解体されました。その体育館との別れの際に、生徒たちがすばらしい動きをしたことも記憶に残っています。職員ともども、歴代の先生方や地域の人々の声を集めた冊子を作成したり、セレモニーを計画してくれたりしたのです。学習や部活動で大きな成果を挙げ、文化祭なども生徒中心の運営を経験するなど歴代の先生方の指導で力をつけ、自主性も育っていた生徒たちだったと改めて思っています。



旧校舎と旧体育館

このように生徒たちは活動し成長しそして巣立っていったのです。さらにそれを支える地域の人々の温かい目、物心両面の協力があり、その積み重ねが瀬峰中学校の伝統を作ってきたのです。

しかし、私たちの生徒の時代とは比較にならないほど整備された環境になってはいましたが、時代の変化ということもあり、学校や施設に対する要求も大きく変化し、対応を迫られる課題も大きくなってきていました。

そして、それから更に20年近く瀬峰中学校の輝く歴史と伝統を継承し一層発展させるために多くの人々が力を尽くしてきたのです。そんな中でも時代は変化を続け、中でも少子化の進行は速く、瀬峰中学校の生徒数も更に半減してしまいました。

瀬峰中学校が閉校するということについてはいささかの寂しさは禁じ得ないのですが、再編することによって一層大きく強くなるための言わば発展的解消です。これまでも瀬峰中学校と高清水中学校は一緒にやろうということで議論を進めようとしてきた経緯もあり、今回はその機が熟した歴史的必然だと思います。一つの課題がよい解決に至ったのだと言えます。

大切なことは、新しくスタートする栗原南中学校で生徒たちが夢と希望をもって、楽しく充実した生活を送り力をつけることです。瀬峰中学校に歴史と伝統があるように高清水中学校にも歴史と伝統があります。それぞれの歴史と伝統が響き合い、良さを発揮し、新しい伝統を創造していくために、今回の閉校と再編が機能してくれるよう期待するものです。

最後に新しい学校が地域の人々に愛され信頼される学校になるよう祈念し、「瀬峰中学校」に「今までありがとう。」と感謝の言葉をおくり、閉校に寄せる言葉といたします。



生徒・保護者・教員として

第19代校長 片倉 剛

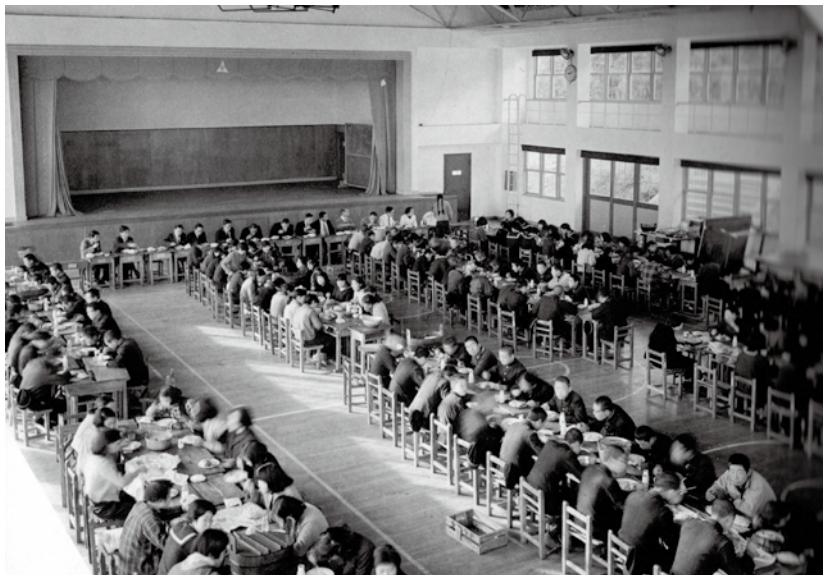
私が瀬峰中学校に入学したのは今から62年前の昭和32年でした。

この年は校歌が制定され、旧体育館が落成しました。その落成式の時、体育大学の選手による器械体操の実演がありました。まるでサーカスのように空中を飛んだり、鉄棒や跳馬で演技する姿に目を見張ったものでした。

柔道部に入り、3年間練習に励みました。仙北鉄道の軽便列車に乗って登米中に練習試合に行ったことが思い出されます。中学校で柔道を経験したおかげでその後私が中学校教員になった時に、柔道部顧問として稽古着を着て生徒と触れ合うことも出来ました。

当時、野球部の高清水中学校との試合があった時は、高清水までみんなで県道を歩いて応援に行ったという思い出もあります。

大学で教職課程を履修し、4年生で教育実習をすることになり、母校にお世話になりました。手島校長先生をはじめ、多くの方に温かく迎えていただき、教科や生徒指導など色々教えていただきました。当時妹や従弟が在籍しており、ちょっと気まずい気分になったことを覚えています。実習授



体育館での学校行事（昭和33年度）

業や部活動、クラブ活動などで生徒と触れ合ったことが教職へ進むきっかけになりました。

その後、私の二人の子どももお世話になりましたが、道德教育の研究指定を受けていた時に、PTAの広報部の委員になりました。研究の内容が「学家連携」の道德教育ということで、毎月の家庭と学校の交流と連携を図る広報誌の発行に携わりました。手書きや、その当時使い始めたワープロを使って月に何度も通信を発行するために集まって活動したことも良い思い出になっています。

研究発表会の時に父母の方々と歌ったコーラスは、30年たった今でも「せみねコーラス・藤」として活動し、私もまだ携わっています。

平成14年の教育課程についての研究指定校の公開が行われた次の年に、瀬峰中学校に着任しました。校舎も体育館も新しくなり、在籍していた頃とはだいぶ変わった学校になっていました。

入学式、卒業式は体育館のフロアで行う対面で行う方式で、「より近いところで保護者の方々に子どもの成長を確認させたい」という担当の先生方の意見を尊重したものでした。

そのころ、栗原郡十町村の合併についての準備が進められていました。生徒に改めて地域に対する認識を深め、地域とのつながりを深めたいと考え、地域の方々に朝会において、色々なお話をさせていただきました。

スポーツ少年団でサッカーの指導をしていた平さんにはギターを弾きながら生徒を励ますお話をさせていただきました。また、当時の山田町長さんにはこれからの郷土、そして栗原市の展望についてもお話をいただきました。「これからは栗駒山も伊豆沼も自分たちの街のものになります」というお話から始まって「これからはもっと広い視野でふるさとを見ていこう」と生徒に新しい郷土への展望を開かせ、希望を抱かせていただきました。

私は現在、瀬峰地区の文化祭のお世話をしていますが、展示やコーラスで瀬峰中の生徒諸君には毎年協力していただいています。これは以前からこの地域と瀬峰中学校の伝統となっています。新しい中学校になっても地域と結びついた中学校・生徒であってほしいと思います。



すべてに感謝

瀬峰中学校父母教師会副会長 山田 直美

ひとつの学校が閉校することはとても寂しいことです。

瀬峰中学校は、学校改革により昭和22年に発足し、新校舎の落成を経て開校されました。

私自身、瀬峰中学校の卒業生であります。在校時、とても大きく広く感じた瀬峰中学校。殆ど変わらずに残されている一つ一つを今見ると懐かしい気持ちそして寂しい気持ちでいっぱいになります。

豊かな自然と穏やかな時間の流れに満ちた地域があったからこそ「生き生きと輝き、自分が自分らしくなれた」と感じる時があります。それは、どの子どもたちにも声をかけ、一人ひとりに分け隔てなく関わってくれた地域の皆様のおかげであります。私たちに多くのことを気付かせ、遊ばせ、育ててくれました。ありがとうございました。

又、最後の瀬峰中学校に携われることをとても嬉しく誇りに思っております。

「本当に長い間ご苦勞様。沢山の思い出をありがとう瀬峰中学校」

閉校とはいえ、新たなスタートの始まりです。新しい仲間と出会い、交流があるのです。新しい自分自身を発見したり、更にお互いを高め合う中学校になることを期待しております。未来に目を向けることで新しい栗原南中学校を見つめようと考えております。

最後になりましたが、この瀬峰中学校に着任された校長先生を始め諸先生方には、これまで本校生徒に熱心な教育と御指導を頂きましたこと、深く感謝申し上げますとともに、これからも地域の「絆」を大切に、瀬峰のより一層の発展を心からお祈り申し上げます。



入学式（平成28年度）



中総体（平成29年度）



旧校舎（昭和52年度）



瀬峰中学校の閉校に寄せて

二上 信昭（昭和33年度卒）

時代のすう勢とはいいながら、伝統ある瀬峰中学校名が無くなることは非常に残念なことだと思います。これも少子化現象と社会の流れか？

小生も昭和34年3月の卒業（第12回生）ですが、中学校時代を振り返ると、部活（野球）一筋で毎日を送っていました。奇しくも郡大会で優勝し、県大会へ出場、一回戦で大河原中学校と対戦、惜しくも1-0で敗れてしまいました。その時の思い出は、応援方法でした。相手はブラスバンドが有り、こちらは何もないので、評定河原球場外から一斗缶を拾ってきて、ガンガンの応援でした。それでも暫く振りの県大会出場だったので、学校挙げての応援はすごかったのを覚えています。

又当時の服は両膝、尻へのあて布をしたものを着ている人が殆んどで、履物といえばゴムの短靴、弁当といえば麦飯はいい方で、大根の刻んだもの、サツマイモ、大根漬け、梅干しのオカズ、それを温飯器に入れるので、その臭いといったら、授業中の先生も我慢できず、寒暖にかかわらず「窓開ける」の声掛けがあったのも懐かしい思い出です。

中学校時代の思い出は数えきれないほど有りますが、その後、学生生活を終え、社会人となり、東京瀬峰会の事務局を担当することになりました。東京瀬峰会とは、東京方面在住の瀬峰中学校卒業生で構成されており、その方々から十数年間隔年ごとに書籍購入費として、10万円ずつ寄附され、東京瀬峰会文庫として小中学校に今も残っております。

又、中学校体育館新築の際にも「何か記念になるものを贈りたい」という申し出があり、当時の校長と話し合い、今のステージにある演台を贈っていただきました。

これも瀬峰中学校卒業生の先輩方の母校に対する感謝の心だと思います。

私は今も学校評議員の一人として、卒業後も瀬峰中学校の節目節目にその時々で関わらせていただいていることに感謝しております。

瀬峰中学校の歴史は閉じられますが、栗原南中学校として新しい歴史を築かれることを御期待申し上げます。

” さようなら、瀬峰中学校”



野球部（昭和33年度）



職員一同（昭和33年度）



職員の様子（昭和33年度）



運動会（昭和33年度）



すべては瀬峰中学校から

笠原 俊男（昭和41年度卒）

私は、昭和39年東京オリンピックの年に、町立瀬峰中学校20回生として入学しました。私たちは、5クラス224人でした。全校で700人近くの生徒だったのではないのでしょうか。とにかく、ごちゃごちゃいた感じです。木造の二階建て校舎の凛とした姿が、懐かしく思い出されます。今、すべてはその風景から始まったように感じています。

中学では、3年間野球部に所属しました。顧問の三浦啓吾先生や先輩方に厳しく指導をしていただき、一生懸命練習しました。身長175cmで脚力・腕力などの体格は、ほとんど中学時代につくられたと言っても過言ではありません。野球部時代の練習のたまものです。そのおかげで、社会に出てから地域のソフトボール大会や野球チームに参加した時は、すぐにチームに溶け込むことが出来ました。「芸は身を助ける」ということかもしれないなとつくづく感じました。

1年生の1学期が始まって間もない頃、自衛隊をやめて教師になられたという佐藤英男先生が新任で着任されました。ピカピカで元気溢れんばかりの先生が、大声で「右・右・左・右」の号令をかけ、私たちは隊列を作って校庭の周りを行進しました。とても新鮮で衝撃的な印象として、今でも昨日の事のように思い出します。

卒業後の進路を決める時、自分は高専に行って早く就職しようと考えていました。しかし、担任の佐藤繁先生に「高専は卒業しても短大の扱いになるので、特別奨学金を利用して普通高校に行って、4年生の大学を目指したほうが良いのではないか」とアドバイスをいただき進路を決めました。そのおかげで、大学進学・就職のときの選択の幅が広がり、今の自分があると思っております。

正門の東側、県道から正門に向かう坂道の右側に、小さな白い浮彫のブロックを一個ずつ十字形に積み上げられた塀があります。美術の千葉隆一先生の指導を受け、3か月位かけて制作した私たちの卒業記念の作品です。各自一個ずつ制作し、皆で積み上げました。一個のブロックに、当時の自分たちの気持ちを表現したものです。ちょっと恥ずかしくて他人に示すことはできませんが、通るたびに当時の事を思い出します。後に、隆一先生の絵が、仏国から表彰を受けたと聞き、先生に教えていただいたことを改めて誇りに思いました。

昭和42年3月、第20回生224人の一人として卒業し、しばらく瀬峰を離れました。

平成元年5月、息子の誕生を期に中学校同級生の妻と三人で、仙台から瀬峰に戻ってきました。自分たちが育ててもらった町で、子どもを育てようと考えたからです。息子も、野球部で鍛えてもらいました。そして平成17年3月、第58回生53名の一人として卒業しました。町立瀬峰中学校の最後の卒業生です。親子三人が、瀬峰中学校の卒業生であることに、感慨深いものがあります。そして誇りに思っています。

平成31年4月、瀬峰中学校は高清水中学校と再編して、「栗原市立栗原南中学校」になります。高清水地区・瀬峰地区中学校再編準備委員会は、子どもたちのために良い中学校にしようと一生懸命議論を重ねました。その姿を拝見し、学校は先生方やPTA役員・地区住民の支えがあってこそ、良い学び舎になっていくのだと改めて教えられました。

瀬峰中学校の閉校は、とても寂しく言葉では言い表せません。子どもたちのために、一住民としてできることがあれば協力は惜しみません。高清水・瀬峰地区にとって「栗原市立栗原南中学校」が、素晴らしい中学校になるようにと切に願っています。

卒業記念作品（昭和41年度）





ずっと忘れない 思い出の学び舎

山田 尚（平成15年度卒）

72年の歴史を積み上げてきた瀬峰中学校が今年度で閉校になることに寂しさを感じるのは私だけではないと思います。

昨今の少子化に伴い、高清水中学校と再編し新たな歴史がスタートします。閉校・再編については様々な意見があったと思います。私としては、新しい仲間と出会い、切磋琢磨することにより子どもたちの大きな成長につながるいい機会なのではないかと思っています。

私は平成13年から16年まで多くの仲間と学び、部活に励みました。瀬峰中学校は他の学校と比べ、人数の少ない小さな学校でした。だからこそ、学校の中のみみんなの名前を覚えられ、男女関係なく、いい意味で年上、年下関係なく仲良くできたのではないかと思います。この仲の良さ、つながりは社会に出た今もさまざまな場面で役立つ最高の財産になっています。

瀬峰中学校は開校以来幾多の人材を多方面に輩出してきました。先輩方はまだまだ後輩に負けぬよう励み、後輩たちは先輩方より多くの功績を残せるように努力していけたらと思います。

最後になりますが、私を育ててくれた瀬峰中学校・地域が大好きで感謝しています。栗原南中学校と名前は変わりますが、これから先も瀬峰に残り恩返しをしていきたいです。

今までありがとうございました。



バスケットボール部（平成15年度）



瀬中祭（平成15年度）

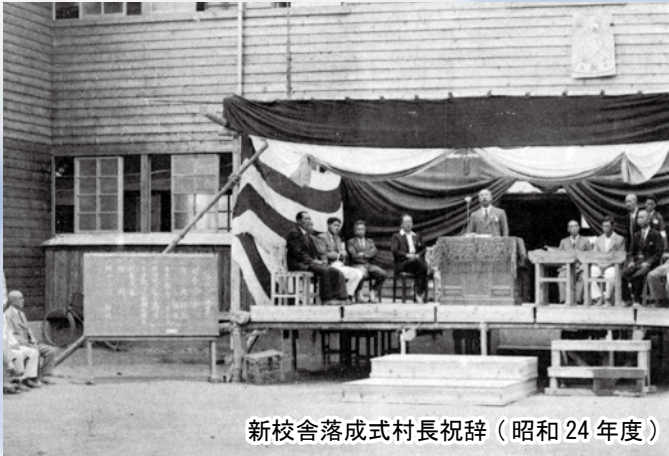


駅伝大会（平成15年度）

集合写真（平成15年度）

授業の様子（平成15年度）





新校舎落成式村長祝辞（昭和24年度）



訓話（昭和24年度）



学田植付（昭和27年度）



文芸部（昭和27年度）



文化祭（昭和31年度）



修学旅行（昭和31年度）



体育館落成式（昭和32年度）



ソフトボールクラブ（昭和33年度）



職員室風景(昭和35年度)



稲刈り(昭和36年度)



校舎全景(昭和36年度)



体育館(昭和36年度)



田植え(昭和37年度)



職員室風景(昭和37年度)



校舎(昭和38年度)

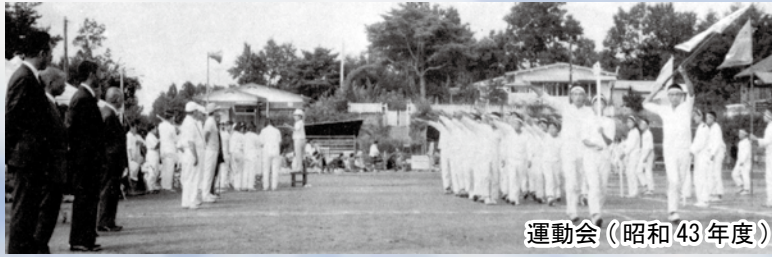


農芸部(昭和39年度)



修学旅行(昭和42年度)





運動会（昭和43年度）



運動会（昭和43年度）



航空写真（昭和45年度）



駅伝大会（昭和45年度）



授業の様子（昭和46年度）



郡中学校体育大会（昭和51年度）



郡中学校体育大会（昭和51年度）



授業の様子（昭和52年度）



文化祭（昭和53年度）



郡中学校体育大会（昭和54年度）



郡中学校体育大会（昭和54年度）



校内マラソン大会 (昭和54年度)



写生大会 (昭和54年度)



球技大会 (昭和54年度)



運動会 (昭和55年度)



剣道部 (昭和55年度)



中総体 (昭和56年度)



修学旅行 (昭和56年度)



授業の様子 (昭和58年度)





文化祭(昭和58年度)



駅伝大会(昭和59年度)



バレーボール部(昭和59年度)



文化祭(昭和59年度)



中総体(昭和60年度)



修学旅行(昭和60年度)



市水泳大会(昭和60年度)



ソフトテニス部(昭和61年度)



授業の様子(昭和61年度)



市駅伝大会(昭和62年度)



修学旅行(昭和62年度)



卓球部(昭和63年度)



文化祭(昭和63年度)



文化祭(平成元年度)



郷土芸能クラブ(平成元年度)



親子スポーツ大会(平成2年度)



文化祭(平成2年度)



文化祭(平成3年度)



運動会(平成3年度)



バスケットボール部(平成4年度)



第46回栗原郡小中学校音楽祭

音楽祭(平成4年度)



生徒総会(平成5年度)



文化祭(平成5年度)



文化祭(平成6年度)



中総体(平成7年度)



文化祭(平成7年度)



市陸上大会(平成8年度)



運動会(平成9年度)



バレーボール部(平成9年度)



修学旅行(平成10年度)



白鳥苑訪問(平成11年度)



壮行式(平成12年度)





市陸上大会（平成12年度）



集合写真（平成13年度）



修学旅行（平成13年度）



授業の様子（平成14年度）



運動会（平成14年度）



ソフトボール部（平成15年度）



ソフトテニス部（平成15年度）



中総体（平成16年度）



文化祭（平成16年度）



ソフトボール部（平成17年度）



授業の様子（平成17年度）



パワーカップ（平成18年度）



文化祭（平成18年度）



職場訪問（平成19年度）



仙台自主研修（平成19年度）



文化祭（平成20年度）





あすなろ学習（平成20年度）



授業の様子（平成21年度）



運動会（平成21年度）



音楽祭（平成21年度）



プール清掃（平成22年度）



修学旅行（平成22年度）



文化祭（平成23年度）



授業の様子（平成23年度）



授業の様子(平成24年度)



市陸上大会(平成24年度)



中総体(平成25年度)



生徒総会(平成25年度)



音楽祭(平成25年度)



運動会(平成26年度)



市駅伝大会(平成27年度)



中総体(平成27年度)





職場体験学習（平成28年度）



ジオパーク学習（伊豆沼研修）（平成28年度）



修学旅行（平成29年度）



運動会（平成29年度）



運動会（平成30年度）



職場体験学習（平成30年度）



文化祭（平成30年度）



1年家庭科ゆかた教室（平成30年度）



耀いた1年間

平成30年度前期生徒会長 二上 星

私は、平成29年10月から生徒会長として活動してきました。この1年間は、全ての行事が最後になるため、それにふさわしいものにしなければならないという責任感やプレッシャーがありました。各行事を成功させるために、執行部で何度も繰り返し話し合いを進めてきましたが、なかなかまとまらず焦ったことも多々ありました。しかし、悩み抜いてみんなで出した企画は、運動会や瀬中祭で全校が一丸となり活動し、そして成功したことにより、私たちの話し合いや努力は間違いではなかったと確信することができました。そしてこの経験は私の自信となりました。また、普段の部活動では、全ての部が高い志と自覚を持ち、練習に励みました。中総体前の激励会では部長会とも連携し、全校で一丸となってお互いを応援できました。そして一人一人が中総体で力を十分に発揮することができたのです。

このように、様々な事に全力で取り組む瀬中生は、今年の生徒会テーマ「耀」のように一人一人がきらきらと光り耀っていました。

4月から栗原南中学校として新たな歴史が始まり、瀬峰中学校は長い歴史に終止符を打つこととなります。私をはじめ、この校舎を巣立った多くの方が淋しく思っていることと思います。しかし、これからは卒業生として新しい風を受け入れるとともに、栗原南中学校を応援していこうと思っています。

瀬峰中学校、高清水中学校の後輩の皆さん。ここからがスタートです。瀬峰中学校には「人の考えや話をよく聞くことができる。」「行事をはじめとした様々な場面で強く団結できる。」といった強みがあります。もちろん高清水中学校にも瀬峰中学校とはまた違った強みがあると思います。後輩の皆さんにはこのような両校のたくさんの良さを生かし栗原南中学校を作っていってほしいと思います。二つの学校には共通点や相違点があると思います。共通点を伸ばし、相違点を認め合っていくことが大切だと考えます。それによって瀬峰中学校と高清水中学校の良さや強みを倍増していくと思うからです。

後輩の皆さん、両校の良き伝統を生かし、お互いの良さを認め合える素晴らしい栗原南中学校を築き上げてください。



瀬中・高中交流学習（平成30年度）



運動会（平成30年度）



新入大会激励会（平成30年度）



文化祭（平成30年度）



皆が楽しいと思える学校にするために

平成30年度後期生徒会長 高橋利里愛

私が瀬峰中学校の最後の生徒会長となって約半年。前会長から瀬中生徒会のバトンを受け取り、先輩方が築き上げてきた「皆で協力し合い、団結して一つのものをつくり上げる瀬中生」という瀬中の良さをさらに大切にしていかなければ、という思いで生徒会活動に取り組んできました。

新生徒会メンバーと瀬中祭などの行事や、瀬中・高中の交流行事、毎日の挨拶運動等、手探りで試行錯誤しながらやってきました。話合いが進まず、悩んだこともありましたが、相談しアイディアを出し合いながら準備を進め、何とか成功し安心するとともに、理解し合い、協力し合うことの大切さを痛感してきました。このことは、「私たち生徒がお互いの良いところを認め、協力し合ったり、頑張りを認め合ったりできる瀬中の良さをさらにパワーアップして、もっと楽しい学校にしたい」との思いで生徒会長に立候補した私にとってとてもうれしいことです。

来年度から栗原南中学校として、瀬峰中学校と清水中学校のそれぞれの伝統を大切に新しい歴史をスタートさせます。

栗原南中学校生徒会も、生徒会長が2人、副会長が4人という体制で臨むことになります。お互いの学校の良さを知っている者同士が協力し合えるというのはとても心強いことです。中には、新しい学校となって、新しい友達と新しい人間関係を築いていくことを不安に思っている人もいるかもしれませんが、だからこそ生徒会活動においても理解し合い、認め合い、協力し合って楽しく活動していくことが大切だと思うのです。

今年度、瀬中・高中の交流行事に取り組んで、二つの学校の生徒が楽しそうに活動する様子を見て、私自身、とても楽しく過ごせました。また、事前準備の生徒会役員合同での話合いで、瀬中生徒会役員だけでは思いつかないような考えに触れ、とても新鮮で面白く感じました。

私は栗原南中生皆と協力し合いながら、一人一人が安心して考えを発表したり、話し合ったりしながら、楽しい学校にしていきたいと思っています。そのために自分にどんなことができるか、一生懸命考え、行動していきます。どんな仲間と出会えるのか、どんな毎日が待っているのか今から楽しみです。



文化祭（平成30年度）



瀬峰中学校閉校に寄せて

栗原市立瀬峰中学校 教頭 渡邊真由美

「雲遠し 青き栗駒…」瀬峰中学校校歌の出だしの歌詞です。

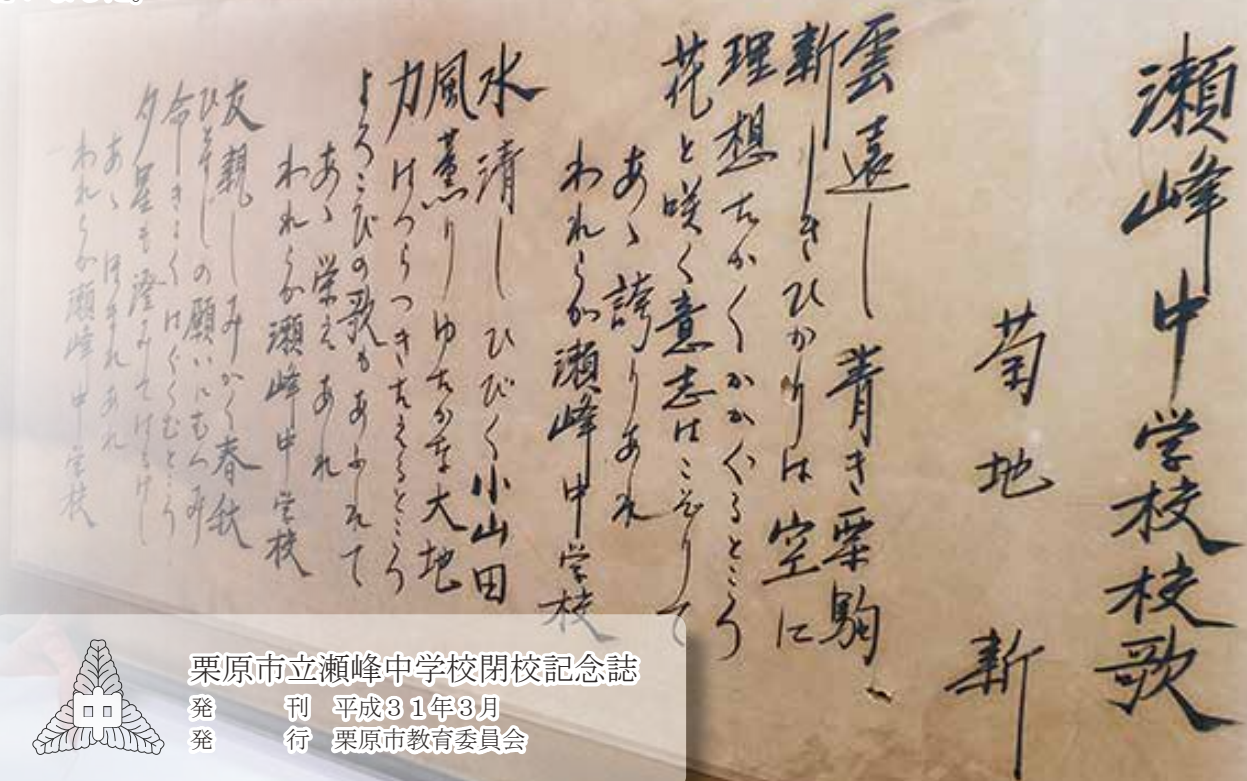
平成29年度に瀬峰中学校に赴任して、生徒たちが歌うこの校歌を聞いたとき、「なんと美しい校歌だろう。」と思ったことを思い出します。昭和32年8月21日に制定されたこの校歌を歴代の瀬中生たちは歌い継いできました。瀬中生は「瀬峰中学校は『理想たかく かかぐる』『力はずらつきたえる』『命きよく はぐくむ』ところなのだ。」と価値付け、3年間の学びの中で、理想を高く掲げて心身を鍛え上げ、大切な命を清らかに美しく育んできたのです。

私は目の前の瀬中生が、先輩方のそうした姿に学び、瀬中の伝統を確かに引継ぎ、そして背中で後輩に瀬中の伝統を伝える場面を幾度となく目にしてきました。運動会や文化祭で。生徒会行事で。入学式や卒業式で。始業式や終業式で。毎日の授業や部活動で。日々の掃除や給食で。そして、友人・先輩・後輩との交流で。私は瀬中生が友と協力し合いながら、手を差し伸べ合いながら、お互い思い遣りながら、泣いて笑って、怒って喜んで、緊張して安心して、そうして日々を友と睦み合いながら過ごしている姿を見る幸福に恵まれました。

昭和22年に瀬峰中学校の前身である藤里村立藤里中学校が開校して以来、瀬峰中学校は72年間の歴史を刻んできました。その72年の一日一日を瀬中生たちは、この地で「われらが瀬峰中学校」への誇りを胸に過ごしてきたのです。真面目に一生懸命話し合ったり、努力を重ねたり、お互い「すごいなあ。」と認め合ったりしながら。そうして一人一人が綺羅星のごとく輝く思い出を心の中につくってきたのだと思います。

来年度から栗原市立栗原南中学校としての新たな歴史がこの校舎で刻まれます。瀬峰中学校は閉校となりますが、瀬峰という地域が培ってきた瀬中生の伝統や瀬中のDNAは、高中のやはり大切に培ってきた高中生の伝統や高中のDNAと融合しつつ確かに息づいて、「栗原市立栗原南中学校」の新しい伝統を築いていくのだと思います。

これから、栗原市立栗原南中学校で過ごす子どもたちが、よりよく社会を生き抜く力を育て大いに活躍し、そうして力強く巣立っていくことを心から願ってやみません。また、これまで瀬峰中学校にご支援とご協力を賜りました地域、保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



栗原市立瀬峰中学校閉校記念誌

発 刊 平成31年3月
発 行 栗原市教育委員会



